

平成17年度東京大学史料編纂所「助手」公募要領

・募集する分野及び人員

古代・中世分野 1名(日本に関する史料の研究、編纂及び出版業務に従事する)

・応募資格

1. 史学専攻の修士課程を修了した者、またはこれと同等以上の学識を有する者
2. 昭和49(1974)年4月2日以降出生の者

・採用予定期日

平成17(2005)年10月16日

・選出方法

選考は、応募者全員について筆記試験を行い、その合格者に対し論文審査及び口述試験を行う。

1. 筆記試験

古代・中世史料のテストを主とするが、近世・維新史料のテストも含む。

2. 口述試験

主として、提出された論文又は著書の内容について試問を行う。

3. 選考の結果、適任者がいない場合は採用しないことがある。

・試験期日及び場所

1. 筆記試験

(1) 日 時 : 平成17(2005)年7月15日(金)

13時から17時まで。

受験者は12時40分までに集合すること。

(2) 場 所 : 東京大学史料編纂所

2. 口述試験

(1) 日 時 : 平成17(2005)年9月12日(月)

(2) 場 所 : 東京大学史料編纂所

・提出書類、提出期日及び提出方法

1 - 1. 出願時に提出する書類

(1) 履歴書(本学指定様式、別紙様式1 [No.1及びNo.2])

* できる限り本学ホームページ http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.htmlから上記の様式をダウンロードして作成すること。

(2) 最終学歴の修了(見込)証明書又は卒業証明書

(3) 最終学歴の成績証明書

(4) 論文・著書リスト(本所指定様式、別紙様式2)

a) 未発表のものでもよい。

b) 筆記試験合格者には論文審査を行うので、その際審査を受けることを希望する論文又は著書名に 印を付すこと。また、 印を付した論文で、すでに印刷発表されている場合は、発行年月及び掲載誌名を記入すること。

(5) 上記 印を付した論文又は著書の概要

A4判用紙を使用し、縦書とし、日本語で4,000字以内とする。

なお、綴じていない場合は、そのまま提出すること。ワープロ使用の場合も縦書とする。

1 - 2 . 提出期日及び提出方法

平成17(2005)年6月20日(月)17時までに史料編纂所庶務係へ持参するか、又は下記宛に書留で郵送すること。

ただし、郵送の場合は、平成17(2005)年6月20日(月)までに必着のこと。

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学史料編纂所事務長

2 - 1 . 筆記試験合格者が提出する書類

さきに提出した「論文・著書リスト」に 印を付した論文又は著書1点(製本していない場合は、そのまま提出してよい。)

2 - 2 . 提出期日及び提出方法

筆記試験合格の通知を受けてから、1週間以内に史料編纂所庶務掛へ持参するか、又は史料編纂所事務長宛に書留で郵送すること。

ただし、郵送の場合は平成17(2005)年7月28日(木)までに必着のこと。

3 - 1 . 口述試験合格者が提出する書類

健康診断書 1通(レントゲンによる胸部診断を主とした公的医療機関発行のもので、平成17(2005)年7月16日以降に診断を受けたもの。)

卒業証明書等(合格者へ別途通知します。)

3 - 2 . 提出期日及び提出方法

合格者へ別途通知します。

. 筆記試験合格者及び口述試験合格者(採用予定者)の決定

1 . 筆記試験合格者 平成17(2005)年7月21日(木)

2 . 口述試験合格者 平成17(2005)年9月15日(木)

. 注意事項

1 . 提出書類を郵送する場合は、封筒に「応募書類」と表記すること。

2 . 提出書類を持参する場合は、10時から17時までに提出すること。

ただし、12時から13時までを除く。

3 . 筆記試験及び口述試験の結果は、各試験の受験者全員に通知する。

4 . 過去の試験問題(筆記試験)を、本所において閲覧することができる。

詳細は下記に問い合わせること。

助手公募に関する問い合わせ先及び時間

東京大学史料編纂所庶務係 (東京大学赤門入って左側建物)

電話 03 - 5841 - 5943

問い合わせ時間 13時~17時